埼玉県鳩山町議会発行

はとやま 議会だより

No.129
2015.8.1発行

6月定例会報告

議会の新体制……2
毎日1万歩運動を実施……4
安全保障法制関連請願が採択に……5
議案審議結果……6
町政を問う・一般質問に全議員が登壇……7
議会クイズ・町の声・編集後記……14

息を合わせてジャンプ！　～鳩山中学校体育祭～

取り組みます

第17期　議会議員

議会議員改選後の初議会が6月5日から行われました。
この議会では、正副議長の選挙、議会運営委員会委員、各常任委員会委員の選任、一部事務組合議会議員なども決まり、議会の新体制が整いました。

議　長　日坂　和久

町民の皆様には日頃から町議会に対し、ご理解とご協力を賜り、心から感謝申し上げます。
平成27年第2回定例会におきまして、議会議長に選任されました。誠に身に余る光栄に存じます。もとより微力ではございますが、円滑な議会運営に努め、より開かれた議会となるよう最善の努力を尽くす所存です。
多くの皆様から議会に関心をお持ちいただけるよう、より一層の議会活性化、チェック機能の充実を図り、その使命達成に努めてまいります。今後とも宜しくお願い申し上げます。

副議長　野田小百合

くらしのすべてが政治と直結しています。
議案の審議過程がよく分かるように、議会の様子をお伝えすると共に、住民の皆様と一緒に考え、審議を更に深め、決定する議会となるよう努力してまいります。
皆様から信頼され、身近に感じていただける議会への一助となれるように、議長を補佐してまいります。
今後ともどうぞ宜しくお願いいたします。

第17期議会議員として平成27年6月5日に就任しました。任期は4年間です。

議席1番	大賀　広史
議席2番	石井　徹
議席3番	田中　種夫
議席4番	松浪健一郎
議席5番	中山　明美
議席6番	小鷹　房義
議席7番	森　利夫
議席8番	小川　唯一
議席9番	石井　計次
議席10番	小峰　文夫
議席11番	根岸富一郎
議席12番	野田小百合
議席13番	日坂　和久

議会運営委員会

会議の会期、議事日程、議事進行、その他の議会運営上必要な事項を協議します。

委員長	石井計次	(前列左)
副委員長	中山明美	(前列右)
委員	根岸富一郎	(後列右)
委員	小峰文夫	(後列中央)
委員	大賀広史	(後列左)

よりよい まちづくりに

常任委員会

地方自治法第109条及び鳩山町議会委員会条例に基づき設置されており、議員はどちらかの常任委員会に属します。その部門に属する町の事務に関する調査を行い、請願等を審査します。

福祉文教委員会

町民課、健康福祉課、高齢者支援課及び教育委員会の所管に関する事項を取り扱います。

委員長	根岸富一郎（前列中央）
副委員長	小川唯一（前列右）
委員	中山明美（前列左）
委員	大賀広史（後列右）
委員	田中種夫（後列中央）
委員	松浪健一郎（後列左）

総務産業委員会

総務課、政策財政課、税務課、生活環境課、産業振興課、まちづくり推進課、北部地域活性化推進室、水道課、出納室及び農業委員会の所管に関する事項並びに他の所管に属さない事項を取り扱います。

委員長	小峰文夫（前列中央）
副委員長	小鷹房義（前列左）
委員	石井計次（前列右）
委員	野田小百合（後列右）
委員	森　利夫（後列中央）
委員	石井　徹（後列左）

一部事務組合議会議員

○坂戸地区衛生組合
し尿の収集、運搬、処理に関する事。
松浪健一郎
小川　唯一

○埼玉西部環境保全組合
ごみの収集、運搬、処理に関する事。
野田小百合
小鷹　房義
中山　明美

○西入間広域消防組合
消防及び火薬取締に関する事。
石井　計次
日坂　和久
大賀　広史

○毛呂山・越生・鳩山公共下水道組合
公共下水道の設置、改築、修繕、維持、その他管理に関する事
根岸富一郎
森　　利夫
石井　　徹

○広域静苑組合
火葬場の設置及び管理に関する事。
小峰　文夫
石井　計次
田中　種夫

はとやま 毎日1万歩運動を実施

「あなたとわたしの骨太ウォーク」
整備がすすむ今宿土地区画整理地内周辺をウォーキング。
正しい歩き方、有酸素運動と骨密度の関係も学びました。

第2回定例会

平成27年第2回定例会は、6月5日から17日まで開催されました。

提案議案は、条例の制定に関するもの10件と平成27年度一般会計補正予算ならびに特別会計等の補正に関するもの3件の計13件で、全議案とも可決されました。

安保法制等に関する請願2件のうち、請願第2号が採択となり、それに対する意見書も可決されました。

平成27年 一般会計補正予算

問 こども発達支援巡回事業委託料の内容は。

答 毛呂病院光の家療育センターの医師、臨床心理士、作業療法士、町の保健師を予定。幼稚園を巡回し、発達の気になる子どもへの適切な対応方法を助言・指導する事業である。

問 はとやま毎日1万歩運動ウォーキングの委託料は。

答 講師や各種指導員への報酬で、1人1回2万円としている。

問 想定される応募者は。

答 20歳以上の方を幅広く募集する予定である。

問 社会保障・税番号制度のスケジュールは。

答 10月5日から町民のみなさんへ通知カード交付申請書の発送が始まり、28年1月から個人番号カードの交付が開始される。

〈反対討論〉

「はとやま毎日1万歩運動」での備品購入295万4千円は無駄遣い。血液検査の委託料を増やした方が良い。

社会保障・税番号制度システム改修業務委託料は、基本的人権に反する。（根岸）

〈賛成討論〉

マイナンバーに係る予算には反対だが、日々の暮らしに係る予算がたくさん盛り込まれているのを全て止めてしまうわけにはいかない。（野田）

町税条例の改正

〈反対討論〉

法人事業税を段階的に拡大し、平成28年度2分の1とし、国、地方を通じた法人実効税率を平成28年度31・3％にするための税制改正である。

町税にも個人番号を付ける内容である。

紙巻きたばこ3級品の値上げである。（根岸）

年金情報が大量に漏えいした。マイナンバーが漏えいすれば、私たちのプライバシーが知られることになる。

今ここで、国は立ちどまって考えることが必要だと思う。（野田）

「安全保障法制関連法案について十分な審議を尽くすことを求める意見書の提出」を求める請願が採択

意見書も可決

請願1号「海外で戦争する国」にする「戦争立法」に反対する意見書の提出を求める請願

〈反対討論〉

どの国も一国のみでは自国の平和と安全を守ることはできない。戦争参加は主体的に判断する自衛の措置を十分に備えておくことで、日本は戦争に巻き込まれるおそれは一層なくなる。（小川）

自衛の措置としての集団的自衛権の限定的行使を容認するもので、戦争立法ではない。（森）

自衛の措置発動の新3要件が定められ、法律に全て明記されている。日本を海外で戦争する国、戦争立法だという批判は、厳格な要件や手続を無視し誤った主張である。（中山）

〈賛成討論〉

世界中の戦闘現場に行き、やむを得ない場合は武器も使う。これまで「集団的自衛権の行使は許されない」としてきた。後方支援も軍事行動で、攻撃される。日本は米国の戦争に「ノー」と言ってない。ポツダム宣言や憲法9条に反する法律である。（根岸）

請願2号「安全保障法制関連法案について十分な審議を尽くすことを求める意見書の提出」を求める請願

〈反対討論〉

十分に議論が尽くされていないという批判は、反対する人々にとっては幾ら審議をしても議論が足りることとならない。日本が他国の戦争に巻き込まれるということはない。（小川）

今期国会を、たぶん9月上旬位まで延ばして、審議をする。憲法学者の見解は、あくまで「私的見解」であり国会を拘束しない。（森）

〈賛成討論〉

憲法審査会で3人の憲法学者が全員、集団的自衛権行使容認は憲法違反との見解を述べている。国民が理解できていない、賛同していない法案をごり押しで決めるのは許されない。（野田）

国会にも内閣にも憲法を遵守する義務がある。本当に憲法を守れるのかという議論をもっと尽くすべきだ。（小鷹）

安全保障法制関連法案について十分な審議を尽くすことを求める意見書

政府は、10法案を一括した「平和安全法制整備法案」と、新法の「国際平和支援法案」を５月14日に閣議決定し、国会に提出した。11法案はそれぞれに重い内容であり、一括審議という手法では十分な審議ができず、議員の表決権を侵害し、余りにも乱暴なやり方である。

昨年12月の総選挙では、具体的な安全保障法制についてはほとんど争点にならず、国民は意見を求められたことはない。最近の世論調査でも法案に対する政府の説明が不十分だと考える人が80%にものぼり、60%の人が今国会で成立させる必要がないとしている。

国民の理解がないままに、解釈改憲で集団的自衛権を容認し、そのための法整備を拙速に行うことは国民の思いをないがしろにし、決して許されることではない。

安全保障法制関連法案は国民に対して十分に説明し理解を得て、そののちに国会において十分に時間をとって、少数意見を真摯に受け止め、審議を尽くしていただきたい。

平成27年６月17日

埼玉県比企郡鳩山町議会

（一部省略）

社会保障・税番号制度に関する意見書

〈趣旨〉

最近、年金機構の個人情報が125万件も漏えいした。

このような中で、電算機システムの改修を行い、町民の個人番号等が付与されることは、個人情報等の漏えいが起きる状況であり、基本的人権の侵害になる。

〈反対討論〉

行政手続き等で添付書類が多すぎコストが掛かる。

国民の公平公正な扱い、税の申告もれを防止する制度でもあり、これらの解消が遅れる。（森）

いじめ問題対策連絡協議会等条例制定

問 協議会の構成は。

答 小学校長の代表者、鳩山中学校長、町PTA連絡協議会の代表者、川越児童相談所の職員、町内駐在所の警察官、さいたま地方法務局の川越支局員、さわやか相談員、主任児童委員等のうちから11人以内。

問 調査委員の構成は。

答 弁護士、川越児童相談所の職員、臨床心理士、スクールカウンセラー、西入間警察署の職員。

〈反対討論〉

いじめ問題対策連絡協議会は学校ごとに、子どもと親と教員と第3者的な人とケースワーカーなどの専門家でつくるべきだ。

いじめ防止対策推進法にもとづくいじめ防止対策や運営では、いじめ対策に逆行する。(根岸)

教育委員会委員に 橋詰 玲子 氏

教育委員会委員の任期満了に伴い、楓ヶ丘四丁目在住の橋詰玲子氏の任命について同意しました。

監査委員に 小川 唯一 議員

町議会議員の改選に伴い、議会選出の監査委員に、小川唯一議員を選任することに同意しました。

議案の審議結果

○は賛成　●は反対　議は議長

		議案	大賀 広史	石井 徹	田中 種夫	松浪健一郎	中山 明美	小鷹 房義	森 利夫	小川 唯一	石井 計次	小峰 文夫	根岸富一郎	野田小百合	日坂 和久	審議結果
第2回定例会	町長提出	教育委員会委員の任命	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	同意
		専決処分の承認（税条例等の一部を改正する条例）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	議	承認
		専決処分の承認（国民健康保険税条例の一部を改正する条例）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	承認
		いじめ問題対策連絡協議会等条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	議	原案可決
		税条例等の一部を改正する条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	●	●	議	原案可決
		介護保険条例の一部を改正する条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決
		体育施設条例の一部を改正する条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決
		平成27年度一般会計補正予算（第1号）の議定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	議	原案可決
		平成27年度国民健康保険特別会計補正予算(第1号）の議定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決
		平成27年度介護保険特別会計補正予算（第1号）の議定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決
		町道路線の廃止	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決
		町道路線の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決
		監査委員の選任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	同意
	請願	日本を「海外で戦争する国」にする「戦争立法」に反対する意見書の提出を求める請願書	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	●	議	不採択
		「安全保障法制関連法案について十分な審議を尽くすことを求める意見書の提出」を求める請願書	○	○	●	○	●	○	●	●	○	○	●	○	議	採択
	議員提出	議員派遣について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決
		安全保障法制関連法案について十分な審議を尽くすことを求める意見書	●	○	○	○	●	○	●	●	○	○	○	○	議	原案可決
		社会保障・税番号制度システム改修業務に関する意見書	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	○	議	否決

町政を問う！

一般質問　全議員が登壇

　議員は、毎年３月、６月、９月、12月に開催される定例議会で、町政全般に対し質問をすることができます。これを「一般質問」といいます。
　本文は質問した議員本人の責任で要約し、執筆した原稿をそのまま掲載しています。（別掲の議員名を付した文章も全て同様の扱いです。）

野田小百合　議員
１　鳩山ニュータウンの自治組織のあり方について
２　防災について　３　公園の整備について

根岸富一郎　議員
１　空き家対策法の活用を問う
２　住宅リフォーム資金助成制度を改善できないか
３　新学童保育制度へ移行し、どんな支援を考えているか

田中種夫　議員
１　梅沢運動場関連の施設改修について
２　町民体育館施設について

松浪健一郎　議員
１　鳩山ニュータウン地区における、都市再構築戦略事業について
２　泉井地区活性化取組方針について

森　利夫　議員
１　ふるさと納税について　２　給食センターについて

日坂和久　議員
１　鳩山町まち・ひと・しごと創生総合戦略について

小鷹房義　議員
１　新給食センターについて　２　国民健康保険税について

小川唯一　議員
１　農業行政について

中山明美　議員
１　自殺予防の取り組み　２　災害時の備え
３　子育て支援　４　空き家対策

大賀広史　議員
１　子育て支援について　２　高齢者支援について
３　交通安全について

石井計次　議員
１　道路行政について　２　農政について
３　活性化策について

石井　徹　議員
１　スポーツによる健康づくり・町おこしについて
２　ふるさと納税について　３　防災無線について

小峰文夫　議員
１　農村公園整備について
２　小さな町から、大きな夢おこし、町おこしについて
３　企業誘致について
４　４月執行された統一地方選挙について

野田　小百合　議員

自治協力団体

検討委員会答申を受け、どうするか

要綱の改正等を行っていく

問　鳩山ニュータウンの自治組織のあり方検討委員会の答申内容は。

答　自治協力団体の規模は、鳩・松・楓ケ丘の３団体、ニュータウン全体で１団体とする意見もあったが、丁目単位の13団体が望ましいとの意見が多かった。
　住民がお互いに話し合いながら進めていく必要があるとのことだった。

問　町は答申を受け、どのようにすすめるのか。

答　自治協力団体交付金交付要綱を改正し、自治協力団体の定義を明確にする作業を行いたい。

問　答申の中で、住民が話し合う場の設定を町に求めているが。

答　要綱を改正し暫定措置も考える。それらが概ね固まれば、住民の皆様と話し合いたい。

問　地区防災計画の策定を考えているか。

答　策定は義務化されていない。国から情報提供される可能性もあり、それらの状況を確認し、進めていきたい。

問　公園のあり方について、住民と共に検討してみてはいかがか。

答　現在、ニュータウン内の公園は維持補修程度の工事しか見込めない。補助金等の財源確保のめどがついた時点で、一緒に考えられればと思う。

問　ドッグラン設置を必要性も含めて、住民と一緒に考えてみないか。

答　予算確保や設置場所の選定、地域住民の理解、管理運営体制の確立など、さまざまな課題がある。公園のあり方について住民との検討の中で、一緒に考えていければと思う。

２年前に開催された『自治組織のあり方意見交換会』

空き家対策

どういう住宅地域にするか計画を
地方創生本部で取り組みたい

根岸　富一郎　議員

問 近年の空き家等に関しての苦情等は。

答 ３年間で指導依頼の受理件数は１１３件、生活環境への影響では31件あり、19件解決済みである。

問 この法律の趣旨は、どういう住宅地域にするかという町づくりであり、実態調査が必要ではないか。

答 創生総合戦略本部で取組みたい。財政上の措置を研究している。

問 町が空き家対策計画をつくる必要があるか。

答 対策を総合的かつ計画的に実施するため、地域の実情に即した計画が必要である。

問 個人財産に対し、町が是正措置を勧告・命令、行政代執行まで行え、所有者の意向に沿った仲介、相談、助成など必要だが、どうするか。

答 どのような判断と対処をすればよいかなど決めるために、協議会の設置が必要になる。

問 住宅リフォーム助成制度で、①対象経費の基準50万円以上を引下げ、②補助率５％の引上げ、③補助限度額10万円の引上げ、④予算額の引上げなど、どのように考えているか。

答 ３年間の時限立法であり、来年度予算編成で、継続、内容の精査、予算など総合的に検討したい。

問 学童保育の保育面積は、１人当たり１・65平方メートルだが、現状はどうか。

答 今宿の施設では、思った以上に多く入所している。子どもの人数などの動向をみながら親との協議を進めたい。

空き家　相続の遅れや所有者が入院などで荒れた家屋（大豆戸地区）

施設改修

運動場施設の改修工事を早急に
認識しているので予算要求の方向

田中　種夫　議員

問 少子高齢化が顕著に進む当町で、高齢者が元気に活動する梅沢運動場について伺う。

年間利用者数はいかほどか。

答 平成26年度の延べ利用者数は約２万６８００人であり、その内、高齢者の方たちは、ゲートボール、グラウンドゴルフなどが主流である。一般の町民の方たちは野球、サッカー、ソフトボールなどで利用されている。

問 運動場の施設としてのトイレ及び手洗い所の改修について伺う。町外からも各種大会などで来町する方も多く見受けられるところだが、施設としては余りにも老朽化が目立ち、町の代表施設として誇れる施設とは感じられない。以前からの懸案事項でもあり、今年度はぜひ、改修工事を実施願いたい。そして町外からの利用者へもおもてなしが出来るように。

答 担当課としても早急な改善が必要なことは認識しているので、便器の数、建物の面積、工事費等、十分検討して予算要求を考えている。

問 隣接する町民体育館について伺う。

年間利用者数はいかほどか。また「避難場所」に指定されているが、耐震設備はいかがか。

答 平成26年度の利用者数は約４万３０００人。耐震基準としては、昭和56年に基準が変更された。平成２年に新基準で建設されており「震度６強程度」の地震でも耐え得ることが出来ると理解している。よって避難場所の指定もしている。

老朽化が目立つトイレ

健康・福祉施設

ニュータウンの少子高齢化対策は

具体的な展開はない

松浪 健一郎 議員

問 鳩山ニュータウン都市再構築戦略事業の概要は。

答 全体概要として、高齢者から子育て世代までが安心して暮らせる多世代交流型のまちづくりを目指し、中心拠点誘導施設(旧松栄小学校跡地)である福祉・健康複合施設の整備。また多世代活動交流センターの未利用教室の活用。この地区までの人の流れを確保するための道路のバリアフリー化事業が柱になる。

問 多世代活動交流センターはどうするのか。

答 施設の耐震化と、3階までのエレベーターの設置。未利用教室を多目的交流スペースにしたい。

問 今のままでは中心拠点誘導施設に人が集まるイメージが出ないが。

答 このエリアの幹になるのは、福祉と健康。そこからさまざまな交流の枝を育て、いろいろな人が訪れる施策展開を、調査研究したい。

問 ニュータウンの少子高齢化対策は。

答 人口減少の中身は、世帯数は減っていないが、世帯人員数が減っている。具体的な施策についてはまったく展開できていない。

問 3世代同居の場合、住宅に関する問題点は。

答 玄関2つとか、住居を2つとか、隣の空き家の活用とか考えられる。

問 現在のニュータウンの空き家の数は。

答 165世帯。

問 泉井地区活性化取組方針に、まちの文化財である新沼窯跡が含まれていないのはなぜか。

答 泉井交流・体験エリア等の整備と合わせて、第2次取組方針で具体化したい。また、国の指定史跡化になれば、国の補助金を含めて検討していきたい。

給食センター

改修工事の延期等を検討すべきでは

早急に建設事業を進めたい

森 利夫 議員

問 給食センターの建て替え工事では、工事代金の9割以上が町の借入金となるが、財政状況をどう考えているか。

答 借入額が建設経費の約9割となるが、町の公債費比率等からは、若干余禄があると考える。

問 補助金が工事代金の1割弱なら、改修工事の延期や工事内容を検討すべきではないか。

答 稼働から30年以上経過し、安全な給食の提供に支障を及ぼしかねない。早急に更新することが必要と考える。

問 町の借入金残高は平成24年度までの過去10年間はおおむね35億円程度で推移してきたが、25及び26年度の借入金残高は。

答 25年度が約49億5000万円、26年度は12月末で約51億円。

問 早期健全化基準を下回っているので、借金をしてでも、建て替え工事が必要としているが、返済その他に不安はないのか。

答 将来的に財政破綻はしないと思う。ただ、毎年の予算編成は厳しい。

問 どうしても改築が必要であれば、高齢者家庭への配食サービス施設等として利用できないか。

答 法制度的には不可能ではないが実施には難しい。

問 週3回のご飯給食のお米は、建て替える施設でも炊かないのか。

答 給食設備等の関係から、外部委託を続ける。

問 それなら、おかずも外部の方が良くないか。

答 おかずは直接調理する方が理想的。

建て替えを予定している給食センター

鳩山町創生

バーチャル資料館設置の位置づけは
全町公園化構想の具体化のひとつだ

日坂 和久 議員

プレミアム付商品券

問 実施要綱からすると、業務が煩雑(はんざつ)で多岐に渡り大変だ。委託業務とした理由は。

答 大変すぎて町でできないかもしれないし、この様な事業は商工会に汗をかいて欲しい。

問 多子家庭・赤ちゃん家庭への支給事業は実施できるのか。

答 実施の準備を進めている。

問 商品券との引換に手間がかかるのでは。

答 できるだけ簡略化したいと考えている。

問 町が発行体なので、今秋開店予定の大規模店舗などは、町からも加盟店登録を働きかけては。

答 大きな店舗だとすぐに決済はできないが働きかける。

問 一過性の地域活性化としないため、今後の政策はあるのか。

答 今後、町内商業振興を基軸とした政策を考えていく。

創生総合戦略暫定計画とバーチャル資料館

問 バーチャル資料館の設置目的は何か。

答 地方創生型ホームページ再構築のひとつで、衛星画像を活用した地域資源の見える化・学ぶ化による観光振興である。

問 創生総合戦略では全町公園化整備目標を変更するのか。

答 変更はできない。

問 窯跡群を活用した町の活性化とICT活用の関連は。

答 窯跡群発掘の歴史、現取り組み、将来像をバーチャル資料館で紹介する。

問 バーチャルでは物足りないと思うが。

答 窯跡群活用についてはバーチャル以外の資料館も考える。

継続できる産業振興策につながるでしょうか?

新給食センター

食物アレルギーの対策は
専用調理室の設置を計画

小鷹 房義 議員

問 学校給食センターは30年以上経過し、老朽化が著しい。どのように設備が変わるのか。

答 国の定める学校給食衛生管理基準に適合した設備で、衛生面・健康面から、大量に水を使用しないドライシステムを導入する。衛生管理基準で定める温度25度、湿度80%以下に保つことができるよう空調設備も整備したい。また、2階から調理現場の様子を見学できるよう整備するとともに、研修・会議室を設置。

問 アレルギー体質のお子さんには、どのような対策をとっているのか。

答 新たに食物アレルギー食専用調理室、及び設備を設ける。さまざまな課題等を整理したうえで、食物アレルギー対応検討委員会など組織して検討していく。

問 町におけるアレルギーの児童・生徒の数は。

答 小学生が10人、中学生は2人。

問 全国的に増加傾向であるが町ではどうか。

答 増加傾向にある。

問 町の国保加入世帯数は。

答 平成27年5月末現在で2881世帯、被保険者数は5030人。

問 鳩山町の賦課方式は所得割・資産割・均等割・平等割を合算した4方式を採用しているが、今後は方式が変わるのか。

答 医療分で見ると資産割を除いた2方式が吉見町、坂戸市、鶴ヶ島市、毛呂山町など採用している。平成30年度から国保の財政運営は都道府県に移管される。賦課方式においても今後の動向に注意して適切に選択していく。

現学校給食センター全景

小川　唯一　議員

農業行政

あんずの収穫予定年は

5農園で今年収穫予定

問　農地中間管理機構の実績と問題点は。

答　事業の対象となる案件を掘り起こす事が出来ずに模索しているところである。

問題点は貸し手借りての希望がうまく合わないこと。顔の見えない農家に貸し付けることに抵抗感があるなど、農地を借り集めることが難しい。

問　この抵抗感を払拭するには。

答　出し手農家の理解を得ることが重要であると認識している。

問　新規作物導入補助金の対象作物が栗、かんきつ類、あんずなのか。

答　比較的手間のかからない特産物を考慮した事による。

問　現在までの活用している人数と金額は。

答　平成24年度から交付実績はない。

問　栽培技術指導は誰が行うのか。

答　県の東松山農林振興センターの果樹担当にお願いしている。

問　鳩山町水田高度利用対策助成事業補助金は町外の人が対象から外されていると聞くが。

答　基本的には町内に住所を有する個人の栽培を対象とする。

問　あんずの収穫予定年はいつ頃か。

答　平成23年度に植えつけた農園では、今年収穫を行う。

問　商品は何を作るのか。

答　鳩山産あんずの認知度を高める商品を作る。

問　販路は。

答　販路確保は極めて重要、ふるさと納税の返礼品として活用したい。

千曲市のあんず

中山　明美　議員

自殺対策

「心の体温計」を導入してはいかがか

分析して検討する

問　鳩山町の自殺予防の現状と取り組みは。

答　①相談支援事業、臨床心理士、精神保健福祉士などの専門職が対応し、町の関係機関、県の保健所等とも連携して支援を行っている。

②一般の方も対象にした講演会等の自殺予防事業。

③ゲートキーパーの養成を含む全庁的な連携体制の整備のため、自殺対策庁内連絡会を設置。

問　「ゲートキーパー」（自殺の危険を示すサインに気づき、適切な対応を図る人）の役割は。

答　悩んでいる人に寄り添い、かかわりを通して孤立や孤独を防ぎ、支援することが重要となる。町職員、関係機関の職員がゲートキーパーとしての役割を果たすべく、研修会、情報交換を行っている。

問　気軽に、ストレスや落ち込み度をチェックできる「心の体温計」というシステムがある。個人情報を一切取得しないで一定のデータが入手できるメリットがある。導入を検討してはいかがか。

答　このシステムは医学的診断や深層心理を測定するものではないが、心の相談窓口等につなげる方法の一つになるかと考えている。アクセス状況や費用も含めた導入効果なども分析して研究していきたい。

問　今後の取り組みは。

答　心に悩みを抱えた方、その家族を対象にした気軽に参加できるサロンを定期的に保健センターで実施する方向で考えている。不安なことを傾聴したり、社会参加を促進するための交流などを図れる場にできればと考えている。

みんなで支えあうゲートキーパーの取り組みを

子育て支援

ファミリーサポート事業の導入を
ニーズやコスト等を研究していく

大賀　広史　議員

問　小学生などが放課後すごせる場所として、公共施設の余剰スペースを利用した子どもサロンの開設は可能か。

答　鳩山町子ども・子育て支援事業計画では、小学生が安心して遊べる場の整備を総合的に検討すると位置づけている。

問　児童館とまでいかなくとも小規模なスペースでサロンのように開放することはできないか。

答　児童館の要件を満たさないものを整備すると、適当な補助金がなく財源的に整備は難しい。

問　保護者の急病などの際、子どもを預かるファミリーサポート事業を開始してはいかがか。

答　補助基準も低くなって利用しやすくはなっている。ニーズやコスト等を今後研究していく。

問　はーとんカフェやふくしプラザのような高齢者サロンの増設は。

答　ボランティアの育成を図りながら、今後の地域サロンの方向性を検討していきたい。

問　今宿交差点における日常の立哨（りっしょう）指導はどうか。

答　西入間交通安全協会鳩山支部は、街頭で交通安全指導等を行っている。常時の立哨は難しい。

問　鳩山町における交通指導員の設置の検討は。

答　財政面等も含めて研究課題だ。

問　ベイシアができるが小学校が近い。町として交通安全の対策は。

答　児童と利用者の安全確保のため、交差点に定周期式信号の設置の要望書を出している。町としてベイシアにも事故防止措置の要望はしていく。

ベイシア鳩山店付近の交差点の安全対策を

道路行政

町道1号線（泉井）の改修計画は
今年度、測量と設計業務を行う

石井　計次　議員

問　町道1号線の改修事業は北部活性化の大きな事業の1つと理解している。

現在どのような位置づけにあるか伺う。

答　泉井地区と町では北部地域活性化基本条例に基づき活性化協定書を締結した。町道1号線整備事業は泉井地区活性化取組み方針の社会資本整備に区分される事業。

問　事業費と補助金について伺う。

答　現時点での事業費は、概算で4億7000万円を想定している。

財源としては補助金として防災安全交付金で2億5850万円。（仮称）鳩山新ごみ焼却施設の地元対策費、1億5000万円。一般財源6500万円などを計画している。

問　完成年度を伺う。

答　平成29年度に地権者の協力をいただき、道路用地を買収の予定。用地確保の区間から工区を分け、工事を施工。

平成31年度の完成を予定している。

問　完成後の幅員は9・75メートルになるが、接続するときがわ町の町道幅員を伺う。

答　鳩山町との接続部分については、4から6メートル程度と認識している。

問　完成度の高い、かつ交通安全上の観点からときがわ町と協議する考えは。

答　鳩山町側から10メートル道路が入ってくる事にときがわ町として「今後の検討課題にさせていただきたい」という打ち合せになっている。

道路改良される町道第1号線（泉井地内）

スポーツと健康

スポーツと健康の今後の取組は

はとやま毎日一万歩運動の実施

石井　徹　議員

問　スポーツによる健康づくりの今後の取組は。

答　地域健康教室やAAトレーニング教室を実施、今年度にはとやま毎日一万歩運動を実施する。

問　スローステップ運動の全町展開は。

答　高齢期に取り入れたい運動として過去に講習会を実施、好評につき今後は保健センターの事業に取り入れていく。

問　健康作りを応援するポイント制の導入は。

答　他の自治体の導入例を研究していく。

ふるさと納税について

問　ふるさと納税や寄付行為を他の自治体にすることで、実質、今納めている住民税の一部が任意の自治体に移転する。それを補う上でも鳩山町も早期にふるさと納税の取組が必要ではないか。

答　12月1日にホームページ上で展開予定。

問　返礼品の内容は。

答　納税者目線で魅力的な返礼品を選定する。

問　子供達の夢を乗せる超小型衛星打ち上げプロジェクトの進行状況は。

答　東京電機大学、JAXAと連携して基本的な考えは共有できており、今後も実現に向け進め、地域振興にもつなげたい。

防災無線について

問　災害の危険性、緊急性で音量調整は可能か。

答　緊急時は最大音量、平常時は迷惑にならないよう音量を下げて活用。

問　地震や落雷等の不安解消の為の情報伝達手段として活用はできるか。

答　国や県の指導を仰ぎながら運用の幅を広げ、情報提供や住民の不安解消に努めていきたい。

農村公園周辺散歩道

企業誘致

ベイシアの進捗状況は

9月中旬オープンを予定

小峰　文夫　議員

問　農村公園のじゃぶじゃぶ池の周りに玉石が並べてあるが、その玉石が剥がれて危険状態になっている。どのように考えているか。

答　農村公園は平成8年5月にオープンして以来、多くの方々に親しんでいただいている。

農村公園の中には、活性化施設のまつぼっくり、大沼、ふれあい交流広場、水辺の広場、それと、親水体験広場、児童遊具、東屋、湿性植物園などがある。夏も近くなると、多くの子ども達が、じゃぶじゃぶ池の周りで遊ぶようになり、池の周りの玉石が剥れコンクリートで補修はしているが追いつかない状況である。

問　じゃぶじゃぶ池の周りのコンクリートが突き出ていて危険状態。小さい子どもが裸足で転んだりして怪我をしたら大変。いっそのこと埋めて花壇にしたらどうか。

答　一つの案として検討させていただく。

企業誘致について

問　今宿東土地区画整理地内今宿小学校南側に始まった、食料品スーパーマーケット（ベイシア）の進捗状況について伺う。

答　ベイシアのスーパーマーケットについては、現在建設中である。

4月下旬からの基礎工事も終わり、建屋の鉄骨を建て始めて、竣工は8月下旬、オープンは9月中旬を予定している。

問　ベイシアの店舗内に身障者用の電動車椅子で買い物が出来るか。

答　車椅子、電動車椅子、また、盲導犬等も入店可能である。

建設工事が進むスーパーマーケット　ベイシア

議会クイズ

●正解者の中から抽選で、5人の方に図書カード500円分を差し上げます。

●クイズの正解と当選者の発表は、次号の議会だよりに掲載します。

128号の当選者5人の方おめでとうございます！

○赤沼 保積 沙紀 様
○小用 横田くに子 様
○楓ヶ丘 高崎 芳美 様
○楓ヶ丘 丸山さと子 様
○松ヶ丘 天神 章広 様

★前号の答え
①ハ ②ロ ③イ

（応募方法）
はがきに「答え・住所・氏名（ふりがな）・年齢・性別・電話番号」を記入してください。
なお「議会だより」や議会に対してのご感想、ご意見なども、ぜひお聞かせください。

（あて先）
〒350-0392 鳩山町大豆戸184-16
議会事務局「クイズ係」

（締切）8月18日（火）
（当日消印まで有効）

ぜひ奮ってご応募ください。お待ちしています。

問題1 表紙の写真はどこでしょう。
イ 鳩山小学校 ロ 亀井小学校
ハ 鳩山中学校 ニ 今宿小学校

問題2 一般質問をした人は何人でしょう。
イ 16人 ロ 13人 ハ 10人

問題3 新しく展開される健康増進の取り組みです。毎日の目標は。
イ 5千歩 ロ 8千歩 ハ 1万歩

たくさんの方に傍聴していただきました。

ありがとうございました。いただいたご意見やご感想などご紹介します。

安全保障法制にかかる請願が2本提出されました。請願のテーマへの住民の皆様の関心の高さがうかがえます。

議員全員協議会 7人
請願代表人の意見表明がありました。

総務産業委員会 17人
請願審査がありました。委員会室は狭く、6人ほどの傍聴スペースでしたが、人数制限することなく皆さんに入っていただきました。

〈感想〉
●友人3人で気軽に出かけてみました。行って何だか素晴らしいことをしたと胸を張りたい気分になりました。
●初めて委員会傍聴しました。とても活発な意見のやり取りがあって、良かったです。

本会議 17人
請願、意見書の可否が決まりました。

〈感想〉
●請願の議決が、昼休みにかかったけれど、議事継続したのは良い判断だと思います。多数の傍聴者への配慮を柔軟に行える鳩山町議会に「いいね！」を送ります。
●議場の傍聴席は屋根裏同然。圧迫感があり、何より議員席が見えないのが残念です。
●賛成・反対、それぞれ自分の考えをきちんと討論で表明されていたことが良かったです。

議会初日 2人
一般質問 33人

☆議会から
皆様に開かれた議会になるようこれからも頑張ります。

（人数は傍聴者数）

次回9月定例会は9月1日(火)から開催予定です

●町議会は、年4回（3月、6月、9月、12月）の「定例会」、必要があるときに開かれる「臨時会」があります。
●請願・陳情は8月24日17時までに提出してください。
●議会ホームページから議会の様子を音声配信しています。ぜひご利用ください。

QRコードを読み込むと、議会のホームページが表示されます

編集後記

新しい4年間の歩みが始まりました。
全議員が一般質問に臨みました。経験を積んだ議員、新人議員、それぞれが十分に力を発揮すれば充実した議会になります。今議会は、そんな希望が見えた議会でした。
議会の場で、きちんと発言すること。それに加えて議会の様子を住民の皆様にきちんとお伝えするところまでが議員の責務だと思っています。
皆様のご意見をいただきながら更に『議会だより』も進化していきたいと思います。工夫と努力を重ねてまいりますので、どうぞ宜しくお願いいたします。（野田）

第129号編集委員
委員長 野田 小百合
委員 根岸 富一郎
委員 小峰 文夫
委員 石井 計次
委員 中山 明美
委員 田中 種夫
委員 大賀 広史

●鳩山町議会ホームページは 鳩山町議会 ←で検索してください。

平成27年8月1日 発行
（〒350-0392 埼玉県比企郡鳩山町大字大豆戸184番地16）